（単位：円）

利益の処分に関する書類

Ⅰ　当期未処分利益		346,459,375
当期総利益	346,459,375	
Ⅱ　前中期目標期間繰越積立金		1,575,474
前中期目標期間繰越積立金	1,575,474	
Ⅲ　利益処分額		
積立金	348,034,849	348,034,849

行政サービス実施コスト計算書

（自平成22年４月１日　至平成23年３月31日）

（単位：円）

Ⅰ　業務費用			
⑴　損益計算書上の費用			
業務費	7,886,782,810		
一般管理費	3,718,462,456		
財務費用	9,036,211		
臨時損失	10,443,624	11,624,725,101	
⑵　（控除）自己収入等			
事業収入	△ 1,439,115,745		
事業外収入			
基金運用益	△ 142,943,772		
受託収入	△ 89,121,638		
寄附金収益	△ 6,177,255		
資産見返寄附金戻入	△ 209,700		
財務収益	△ 2,507		
雑益	△ 25,626,105	△ 1,703,196,722	
業務費用合計			9,921,528,379
Ⅱ　損益外減価償却相当額			3,284,546,905
Ⅲ　損益外除売却差額相当額			△ 97,315,046
Ⅳ　引当外賞与見積額			519,094
Ⅴ　引当外退職給付増加見積額			△ 23,606,421
Ⅵ　機会費用			
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用		110,686,218	
政府出資等の機会費用		1,239,045,117	
政府出資等の機会費用（基金分）		124,468,493	1,474,199,828
Ⅶ　行政サービス実施コスト			14,559,872,739

注記

１．国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の算定方法
近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。

２．政府出資等の機会費用の計算方法
国債の平成23年３月31日現在の運用利回りである1.255%を参考に適用しております。

３．国又は地方公共団体等からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額　197,641,389円

附属明細書

１．固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

（単位：円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額	差引当期末残高
							当期償却額		
有形固定資産（償却費損益内）	建物	459,162,443	42,733,950	—	501,896,393	140,599,825	24,729,321	—	361,296,568
	構築物	73,116,727	11,301,465	—	84,418,192	31,966,905	4,749,270	—	52,451,287
	機械及び装置	26,078,110	39,385,920	—	65,464,030	13,763,820	2,779,718	—	51,700,210
	船舶	23,633,480	13,755,000	—	37,388,480	4,996,033	4,511,932	—	32,392,447
	車両運搬具	89,217,775	821,600	3,082,000	86,957,375	52,578,154	14,261,105	—	34,379,221
	工具器具備品	1,041,792,762	18,063,745	32,897,210	1,026,959,297	614,768,144	134,843,580	—	412,191,153
	計	1,713,001,297	126,061,680	35,979,210	1,803,083,767	858,672,881	185,874,926	—	944,410,886
有形固定資産（償却費損益外）	建物	64,805,744,138	4,350,025,672	45,611,680	69,110,158,130	14,170,674,425	2,327,718,287	—	54,939,483,705
	構築物	18,307,682,880	31,897,172	3,109,400	18,336,470,652	11,171,512,824	893,119,632	—	7,164,957,828
	機械及び装置	309,304,620	—	5,356,829	303,947,791	184,526,177	35,152,816	—	119,421,614